

教科		英語	科目	英語	単位数	6
学年	中学3年	科・専攻・コース				
教科書		NEW HORIZON 3		副教材	教科書準拠ワークブック 夏期・冬期テキスト（基本問題集）	
学習到達目標		<p>○聞いたり読んだりしたことについて、感想や意見を述べたり、聞きとることができる。</p> <p>○さまざまな主題に対して、自分の考えを正しく伝えるよう、書くことができる。</p>				
評価の観点		<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション活動・スピーチ発表に積極的に取り組んでいるか。【関心・意欲】 ・場面に応じて適する表現を選び、話したり書いたりできているか。【表現】 ・物語や説明文を読んで、人物の心情や情報を適切に読み取ることができるか。【理解】 ・単語、語句、文法を理解し、正しく使うことができているか。【言語】 				
期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標			
前 期	前期 第1回 定期試験	<ul style="list-style-type: none"> ・ Unit 0 [Countries around the world] ・ Unit 1 [Pop Culture Then and now] ・ Daily Scene1 [食事の会話] ・ Presentation1 [日本文化紹介] 	<p>【関心・意欲】 聞き手が理解しやすいように原稿を書いて発表したり、友達の発表を聞くことができる。</p> <p>【表現】 あるものについてそれがどんなものか説明することができる。</p> <p>【理解】 英文の記事や日記を読んで、内容を理解することができる。</p> <p>【言語】 受け身の形・意味・用法に関する知識を身につける。</p>			
	前期 第2回 定期試験	<ul style="list-style-type: none"> ・ Unit 2 [From the Other Side of the Earth] ・ Daily Scene2 [手紙] ・ Unit 3 [Fair Trade Event] 	<p>【関心・意欲】 積極的にインタビューしたり、発表したりしている。</p> <p>【表現】 これまで経験したことや続いていることについて述べることができる。</p> <p>【理解】 海外の国に関する説明文を読んで内容を理解することができる。</p> <p>【言語】 現在完了形の形・意味・用法に関する知識を身につける。</p>			
	前期末 試験	<ul style="list-style-type: none"> ・ Daily Scene3 [誘い] ・ Presentation2 [修学旅行] ・ Let's Read 1 [A Mother's Lullaby] ・ Unit4 [To Our Future Generations] 	<p>【関心・意欲】 修学旅行について、スピーチの構成を意識して発表しようとしている。</p> <p>【表現】 自分や友達について相手に情報を伝える文を書くことができる。</p> <p>【理解】 物語を読んで、場面の変化や登場人物の心情などを読み取ることができる。</p> <p>【言語】 不定詞を用いた表現・意味・用法に関する知識を身につける。</p>			

期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標
後 期	後期 第1回 定期試験	<ul style="list-style-type: none"> ・ Daily Scene 4 [道案内] ・ Unit 5 [Living with Robots - For or Against] ・ Daily Scene 5 [電話の会話] 	<p>【関心・意欲】 自分の意見を言ったり、相手に質問をしたり答えたりして、積極的に議論に参加している。</p> <p>【表現】 相手の意見を受けて、自分の考えやその理由を述べることができる。</p> <p>【理解】 議論を読んで、賛否や主張の要点、理由などを理解することができる。</p> <p>【言語】 名詞を後ろから修飾する分詞、間接疑問文の形・意味・用法に関する知識を身につけている。</p>
	後期 第2回 定期試験	<ul style="list-style-type: none"> ・ Unit 6 [Striving for a Better World] ・ Daily Scene 6 [レポート] ・ Presentation3 [中学校生活] 	<p>【関心・意欲】 自分の主張を伝えようとレポートを書いたり、自分の中学校生活についてスピーチの構成を意識して発表しようとしている。</p> <p>【表現】 人やものについて詳しい情報を加えて、説明することができる。</p> <p>【理解】 インターネットの記事や意見を述べるレポートを読んで、内容を理解することができる。</p> <p>【言語】 さまざまな関係代名詞の形・意味・用法に関する知識を身につけている。</p>
	学年末 試験	<ul style="list-style-type: none"> ・ Let's Read 2 [The Green Door] ・ Let's Read 3 [An Artist in the Arctic] 	<p>【関心・意欲】 物語や伝記の内容について自分なりに考えながら読み進めようとしている。</p> <p>【表現】 登場人物の心情に合わせて、音読することができる。</p> <p>【理解】 物語を読んで、場面の变化や登場人物の心情などを理解することができる。 伝記を読んで、人物の生き方や思いなどを理解することができる。</p>

教科		国語		科目		単位数		5	
学年		中学3年		科		専攻・コース			
教科書		光村図書			副教材		小倉百人一首・つまずかない 文法・漢字練習辞典		
学習到達目標		<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成や論の展開に着目して筆者のものの見方や考え方をとらえ、自分の考えを持つことができる。 筆者の主張に対して、自分の知識や体験と関連づけて考えることができる。 学習した語句や漢字を用いて文章を書き、意見や感想を発表で表現したり、人の主張と比較したりして、自分の考えを深めることができる。 							
評価の観点		<ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで段落の要点をまとめ、筆者の考え方をとらえることができたか。 小説の中の登場人物の心情の変化を読み取ったり想像したりしながら読み進め、作品を読み味わうことができたか。 自分の知識や体験と結び付けて考えをまとめたり、文章に書いたり発表したりして考えを広げることができたか。 							
期	月	学習内容・項目			学習のポイントと到達目標			備考	
前 期	前期 第1回 定期 試験	【詩】 春に 【小説】 握手 【漢文】 学びて時にこれを習ふ			<ul style="list-style-type: none"> 作者の思いをとらえ、表現の特徴をとらえながら朗読しよう。 登場人物の置かれた状況や言動に着目して、人物の関係や心情の変化を捉える。 漢文を朗読し、人間の生き方についての孔子の考え方を自分の生活に関連づける。 			百人一首 漢字 文法	
		【説明】 月の起源を探る 【俳句】 俳句の可能性			<ul style="list-style-type: none"> 説明の順序や図の使い方に着目して、内容を捉える。 筆者の科学的なものの見方や考え方について自分の考えを持つ。 筆者のものの見方や感じ方や表現などを読み味わう。 			百人一首 漢字 文法	
		【小説】 高瀬舟 【詩】 挨拶			<ul style="list-style-type: none"> 朗読を通して、表現を読み味わい、人物の考え方の違いについて考える。 比喩や象徴的な表現に着目し、作者のものの見方や考え方を捉え、考えを深める。 			百人一首 漢字 文法	

期		学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備考
後	後期第1回定期試験	【小説】 故郷	<ul style="list-style-type: none"> ・場面や登場人物の設定に着目し、内容を読み深める。 ・時代や社会の変化の中での人と人の関わりについて、考えを持つ。 	百人一首 漢字 文法
	後期第1回定期試験	【古文】 君待つと	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の文章を朗読して、その独特の調子やリズムに慣れ、和歌を読み味わう。 	
期	後期第2回定期試験	【古文】 おくのほそ道 【論説】 作られた「物語」を超えて	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的背景などを考えながら、作者のものの見方や感じ方を読み取る。 ・論理の展開に着目して、主張を捉える。 ・筆者のものの見方や考え方を踏まえて、人間、社会、自然について自分の考えを持つ。 	百人一首 漢字 文法
	後期第2回定期試験 学年末試験	【詩】 初恋 【詩】 わたしを束ねないで 【論説】 誰かの代わりに	<ul style="list-style-type: none"> ・音読を通して言葉の響きやリズムを味わう。 ・詩の中の言葉や表現から作者の思いを捉える。 ・筆者のものの見方や考え方を捉え、自分の生き方について考える。 	百人一首 漢字 文法

学
年
末
試
験

教科		社会		科目		単位数		4	
学年		中学3年		科		専攻・コース			
教科書		中学社会 歴史・公民 (教育出版)			副教材		総合歴史(浜島書店) 公民資料集2018(新学社)		
学習到達目標		広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な社会的資質の基礎を養う。							
評価の観点		① 社会的事象への関心・意欲・態度 ② 社会的な思考・判断・表現 ③ 資料活用の技能 ④ 社会的事象についての知識・理解							
期	月	学習内容・項目			学習のポイントと到達目標			備考	
前 期	前期 第1回 定期 試験	<歴史> 近代の日本と世界							
		1	明治維新と立憲国家への歩み		① 明治維新と明治政府の憲法発布、国会開設により、日本が近代化に向けて歩み出したことを理解する。				
2		激動する東アジアと日清・日露戦争		② 日清・日露戦争と条約改正を経て、国際社会における日本がどう変わったか理解する。					
		3	近代の産業と文化の発展		③ 日本の産業革命と文明開化により、国民の生活が大きく変化したことに気付く。				
前 期	前期 第2回 定期 試験	<歴史> 二度の世界大戦と日本							
		1	第一次世界大戦と民族独立の動き		① 第一次世界大戦の原因や日本がどのように関わることになったのかについて理解する。				
		2	大正デモクラシー		② 第一次世界大戦を機に高まった民主主義運動について理解する。				
		3	恐慌から戦争へ		③ 世界恐慌とファシズムの台頭により日本が軍国主義へと傾き、満州事変、日中戦争へと発展したことを理解する。				
		4	第二次世界大戦と日本の敗戦		④ 第二次世界大戦、そして太平洋戦争の原因と経過を知り、戦争の恐ろしさ、原子爆弾の怖さを知る。				
		5	日本の民主化と冷戦		⑤ 敗戦、そして独立から復興までの流れを知り、日本国憲法と冷戦について、理解する。				

		<p><公民> 私たちの暮らしと現代社会</p> <p>1 私たちが生きる現代社会</p> <p>2 現代につながる伝統と文化</p> <p>3 私たちがつくるこれからの社会</p> <p>人間を尊重する日本国憲法</p> <p>1 民主主義を支える日本国憲法</p>	<p>① 「少子高齢化」、「情報化」、「グローバル化」の3つのテーマから現代社会の特徴をとらえ、自分と世界とのつながりを考える。</p> <p>② 科学・芸術・宗教を軸に日本各地に残る年中行事も絡め、それぞれの理解を深める。</p> <p>③ 「対立と合意」、「効率と公正」の概念の獲得を目指し、ルール作りを通して認識を深める。</p> <p>④ 日本国憲法に規定されている「国民主権」、「基本的人権の尊重」、「平和主義」の基礎を学ぶ。</p>	
期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備考
後	後期第1回定期試験	<p><公民> 人間を尊重する日本国憲法</p> <p>2 憲法が保障する基本的人権</p> <p>3 私たちの平和主義</p> <p>私たちの暮らしと民主政治</p> <p>1 民主主義と日本の政治</p>	<p>① 誰もが生まれながらにして持っている権利であり、侵すことのできない永久の権利であることを理解し、人権の大切を実感する。</p> <p>② 日本国憲法における平和主義の立場をふまえながら、これからの社会の平和の構築について考える。</p> <p>③ 選挙制度や国会のしくみなどを通じて、現在の日本の「議会制民主主義」を理解する。</p>	
		<p><公民> 私たちの暮らしと民主政治</p> <p>2 司法権の独立と裁判</p>	<p>① 裁判のはたらきや、刑罰の種類について理解し、模擬裁判などを通じて、死刑制度や冤罪について考えを</p>	

期	試験	<p>3 地方自治と住民の参加</p> <p>私たちの暮らしと経済</p> <p>1 消費生活と市場経済</p> <p>2 生産のしくみと企業・金融</p>	<p>深める。</p> <p>② 地方公共団体の仕事やしくみを理解し、地域が抱える課題などに気づき、住民参加による地方自治の意義について考える。</p> <p>③ 生徒たちに身近な消費行動について取り上げ、需要と供給の関係について理解する。</p> <p>④ 生産をになっている様々な企業を取り上げ、「株式会社」のしくみを学ぶ。また銀行を中心とした金融機関の役割について学ぶ。</p>	
	学年末試験	<p><公民> 私たちの暮らしと経済</p> <p>3 財政と政府の役割</p> <p>安心して暮らせる社会</p> <p>1 労働と社会保障</p> <p>2 これからの日本経済の課題</p> <p>国際社会に生きる私たち</p> <p>1 国際社会と国家</p> <p>2 国際社会が抱える課題</p>	<p>① 政府の経済活動について、歳入と歳出のグラフなどを用いながら、財政の役割と税金の意義について理解する。</p> <p>② 働くことの意義を考え、労働者を守る権利や法律について学ぶ。</p> <p>③ 公害と環境問題、地域経済の活性化、グローバル化する経済をもとに、今後の日本経済のあり方について考えを深める。</p> <p>④ 国家には主権があり、国家が支配する領域があることを理解し、その国家間の平和の実現のために「国際連合」があることを理解する。</p> <p>⑤ 地球環境問題、資源・エネルギー問題、国際紛争、食料や水の問題などについて、新聞やインターネットを活用し理解を深める。</p>	

教科		数学		科目		数学		単位数		6	
学年		中学3年		科				専攻・コース			
教科書		中学数学3 (教育出版)				副教材		自立学習新演習(Learning)			
学習到達目標		① 数の平方根について理解し、数の概念についての理解を深める。 ② 2次方程式について理解し用いる能力を培う。 ③ 具体的な事象を調べることを通して、関数 について理解する。 ④ 図形の相似、円周角と中心角の関係や三平方の定理について、観察、操作、実験などの活動を通して理解させるとともに、論理的に考察し表現する能力を伸ばす。									
評価の観点		① 数学への関心・意欲・態度 ② 数学的な見方や考え方 ③ 数学的な表現・処理 ④ 数量、図形などについての知識・理解 上記の4点を定期試験・小テスト・提出物・授業態度を通して評価する。									
期	月	学習内容・項目				学習のポイントと到達目標				備考	
前	前期第1回定期試験	第1章「式の計算」 ①多項式の乗法と除法 ②因数分解 ③式の活用 第2章「平方根」 ①平方根 ②平方根の計算 ③平方根の活用				①単項式と多項式の乗除について理解し、多項式の積の展開の仕方について理解する。 ②乗法公式を用いて、一次式の積の展開ができるようにする。 ③ 数の因数分解の意味と多項式を因数分解することの意味を理解し、共通因数を取り出したり、乗法公式を用いたりして因数分解ができるようにする。 ④ 問題解決に式の展開や因数分解を利用することができるようにする。 ① 新しい数の存在を知り、その数の必要性和意味を理解し、数の概念を広める。 ② 数の平方根の中には、限りなく続く小数でしか表せない数があることを知り、数直線上の数についての理解を深める。 ③ 根号を含む簡単な式の計算や変形ができるようにする。					
		第3章「2次方程式」 ①2次方程式とその解き方 ④ 2次方程式の活用				① 2次方程式の必要性和その解の意味を理解する。 ② 因数分解を利用して2次方程式を解くことができるようにする。 ③ 解の公式を利用して2次方程式を解くことができるようにする。 ④ 2次方程式を問題解決に利用することができるようにする。					
期											

	前期 期末試験	<p>第4章「関数」</p> <p>①関数 $y=ax^2$</p> <p>②関数 $y=ax^2$ の活用</p> <p>③いろいろな関数</p>	<p>① 具体的な事象の中にある2つの数量の関係を、変化や対応の様子に着目し、関数を考察する。</p> <p>② 関数$y=ax^2$の関係を表、式、グラフで表現したり a の意味や変化の割合に着目するなど、その特徴をよみとる。</p> <p>③ 関数 $y=ax^2$ の関係が実生活と深く関わっていることに気付き、関数 $y=ax^2$ を活用する。</p>	
期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備考
	後期 第1回 定期試験	<p>第5章「相似な図形」</p> <p>①相似な図形</p> <p>②平行線と線分の比</p> <p>③相似な図形の面積比と体積比</p> <p>④相似な図形の活用</p>	<p>① 図形の拡大・縮小の意味を知り、それをもとに図形の相似の意味と相似な図形の性質を理解する。</p> <p>② 三角形のそれを使って図形の性質を証明することができるようにする。</p> <p>③ 平行線と線分の比についての性質を理解し、これを活用することができるようにする。</p> <p>④ 三角形の midpoint 連結定理を理解する。</p>	
期	後期 第2回 定期試験	<p>第6章「円」</p> <p>①円周角の定理</p> <p>②円周角の定理の活用</p> <p>「藤枝順心高校入試対策」</p>	<p>① 円周角の意味、円周角と中心角の関係及び等しい弧に対する円周角の意味を理解する。</p> <p>② 中心角と円周角の関係をを用いて、角の大きさを求める。</p> <p>③ 円周角の定理の逆を用いて、同一円周上にある4点を見つけ出す。</p> <p>④ 円周角に関する定理を利用して、図形の性質を証明する。</p> <p>⑤ 円外の1点から円に引く接線の作図ができる。</p> <p>① 過去5年分の問題を解きながら出題傾向を知る。</p> <p>② 毎年出題される計算問題は最後まで解けるようにする。</p> <p>③ 難易度が高い問題は解説を聞いた後に自分で解けるようにする。</p>	

<p style="text-align: center;">学 年 末 試 験</p>	<p>第7章「三平方の定理」 ①三平方の定理 ②三平方の定理の活用</p>	<p>① 三平方の定理は、直角三角形の三辺の長さの関係を表したものであることを理解する。 ② 図形の面積を利用して、三平方の定理の証明をする。 ③ 三平方の定理を利用して、座標平面上の2点間の距離、長方形の対角線の長さ、円錐の高さ、直方体の対角線の長さなどを求める。また、三平方の定理は平面図形と空間図形のどちらの計量にも利用できることを理解する。</p>	
--	---	--	--

教科		理科		科目		中 3 理科		単位数		4	
学年		中学 3 年		科		中高部		専攻・コース		中学	
教科書		中学校理科 3 (教育出版)				副教材		理科資料集 (明治図書)			
学習到達目標		<p>中学教科書と高校教科書の内容を使いながら、一歩進んだ内容を展開していく。</p> <p>【 1 分野 】</p> <p>(1) 実験データから原子・分子のレベルで化学の基本法則を導き出す力を養う。</p> <p>(2) 電子・原子・イオンの関係を理解し、科学的な概念を身に付ける。</p> <p>(3) 力や運動の様子から、物体にはたらく力を見つけることができる。</p> <p>(4) エネルギーという概念に気づき、仕事との関係について理解を深める。</p> <p>【 2 分野 】</p> <p>(1) 動物の観察・実験を通して、肺・心臓などの重要な臓器・感覚器や筋肉について学び、消化・神経系・体液循環など動物の体の仕組みとはたらきについて理解を深める。</p> <p>(2) 身近な生物についての観察・実験を通して、生物の成長と殖え方・遺伝現象について理解するとともに、発生の仕組みについて認識を深める。</p> <p>(3) 自然環境を調べ、自然界における生物相互の関係や自然界のつり合いについて理解すると共に、自然と人間の関わり方について認識を深め、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について、科学的に考察し判断する態度を養う。</p>									
評価の観点		<p>普段の授業態度・授業ノート・課題提出状況・小テストの結果・定期試験の結果・定期試験完全解説ノート・実習レポートなどを考慮しながら評価する。</p>									
期	月	学習内容・項目				学習のポイントと到達目標				備 考	
前	期 第 1 回 定 期 試 験	<p>1 分野 1. 電気分解とイオン</p> <p>① 電解質と非電解質</p> <p>【実験】水溶液の電気伝導性</p> <p>② イオン</p> <p>③ 水溶液の電気分解 1</p> <p>【実験】水の電気分解</p> <p>④ 水溶液の電気分解 2</p> <p>【実験】塩化銅水溶液の電気分解</p>				<ul style="list-style-type: none"> ・電気が流れる水溶液と流れない水溶液を分類できる。 ・電子・原子・イオンの関係がわかる。 ・水溶液の電気分解実験を適切な手順・方法で行う事ができる。 ・電気分解現象を電子・原子・イオンの関係で説明できる。 					
		<p>1 分野 3. 酸性・アルカリ性と中和</p> <p>① 酸水溶液の性質</p> <p>② アルカリ水溶液の性質</p> <p>【実験】酸性とアルカリ性の性質を調べる。</p> <p>③ 中和反応</p> <p>【実験】塩酸と水酸化ナトリウム水溶液の中和反応実験</p>				<ul style="list-style-type: none"> ・酸性水溶液・アルカリ水溶液のそれぞれの性質がわかる。 ・酸性・アルカリ性の原因のイオンがわかる。 ・中和反応実験を適切な手順・方法で行える。 ・中和反応をイオンのレベルでわかる。 					
	前 期 第 2 回	<p>1 分野 4. 3 種類の物質</p> <p>① 希ガス ② 共有結合</p> <p>③ イオン結合 ④ 金属結合</p>				<ul style="list-style-type: none"> ・構成原子の特徴から物質を 3 種類に分類できる。 ・3 種類の結合を原子モデルで説明できる。 					

期	定期試験	<p>2分野 1. 動物の体の仕組み</p> <p>①消化と吸収 ②肺呼吸と循環系 ③腎臓の構造と働き 【実習】腎臓プレパラートの観察 ④感覚器と神経系 ⑤運動器 【観察・実験】筋肉の観察と収縮実験 ⑥脊椎動物の分類</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・内臓諸器官の働きと位置 ・実習を通しての理解を深める ・脊椎動物についてより深く学習する <ul style="list-style-type: none"> ・卵生と胎生 ・えら呼吸と肺呼吸 ・変温動物と恒温動物 ・鱗・羽毛・体毛 ・心臓の発達 ・大後頭孔の位置と頭蓋の発達 ・目の位置と視野の大きさ・遠近感 	
	前期末試験	<p>1分野 2. 力と運動(1)</p> <p>① 力と加速 ② 運動のようすの記録 ③ 速さと距離と時間</p> <p>1分野 5. 力と運動(2)</p> <p>① 力のつりあい ② 力の合成・分解 ③ 慣性の法則 ④ 運動の相対性 ⑤ 質量と重力 ⑥ 摩擦力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2 力における力のつり合いを説明できる。 ・2力以上の力の合成と分解を作図することができる。 ・物体に力がはたらかなければ、その運動を持続しようとする性質(慣性)が、ものの本性であることを理解する。また逆に運動のようすや軌道の形から、物体にはたらく力を見つけることができる。 ・等速で動くシステムと、静止しているシステムは本質的に区別がつかないことに気づき、地動説。 ・物体の加速をにぶくする質量(慣性質量)の存在に気づき、質量と重力のちがいがわかる。 ・摩擦力がはたらく場合について、起こる運動をだいたい予測することができる。 ・物体に力がはたらくと、その力は必ず加速を生むことがわかる。また、加速運動の表し方がわかる。 ・記録タイマーの使い方と、その記録の読み方がわかる。 ・加速運動も含めて、時間・速さ・距離の関係を理解し、これを用いてさまざまな計算ができる。 	
期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備考
後	後期第1回定期試験	<p>2分野 2. 動物の細胞と繁殖</p> <p>① 体を作る細胞 ② 体細胞分裂 【観察】ネギの根端 ③ 減数分裂 【観察】プレパラート ④ 受精と発生 【観察】ウニの発生標本 ⑤ 受精によらない繁殖</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・減数分裂の理解 ・ウニの発生 ・身近な生物の殖え方を観察し、有性生殖と無性生殖の特徴を見いだす ・体細胞分裂の過程が植物細胞、動物細胞に共通であり、多細胞生物は細胞の分裂によって成長することを理解できる。 ・体細胞分裂については、染色体が複製されて二つの細胞に等しく分配され、元の細胞と同質の二つの細胞ができることを理解できる。 ・体細胞分裂の観察を行い、その過程を確かめるとともに、細胞の分裂を生物の成長と関連付けてとらえることができる。 	
	後期第2回	<p>2分野 3. 遺伝</p> <p>① 減数分裂と配偶子 ② 染色体上にある遺伝子 ③ メンデル遺伝 ④ 連鎖している遺伝子 ～染色体地図から～ ⑤ バイオテクノロジー ・遺伝子組み換え技術</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生物が殖えていくときに親の形質が子に伝わることを理解できる。 ・交配実験の結果などに基づいて、親の形質が子に伝わるときの規則性を見いだすことができる。 ・遺伝子の存在を理解できる。 ・メンデル遺伝の完全な理解 ・バイオテクノロジーが我々の生活に関連して 	

期	定期試験	<ul style="list-style-type: none"> ・ E S細胞と i P S細胞 <p>2分野 4. ヒトと自然</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 自然とは ② 森林の生態系 生産者・消費者・分解者 ③ 多様な自然を守ろう <p>・ 淀川のイタセンバラ、河原のキジなど</p>	<p>いることを学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 植物・動物及び微生物を栄養の面から相互に関連付けてとらえると同時に、自然界では、これらの生物がつり合いを保って生活していることを理解できる。 ・ 身近な自然環境について調べ、様々な要因が自然界のつり合いに影響していることを理解し、自然環境を保全することの重要性を認識できるようにする。 	
	学年末試験	<p>6. 仕事とエネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 仕事の原理 ② 運動エネルギーと位置エネルギー ③ エネルギー保存則 ④ 自然界で形を換えるエネルギー ⑤ 放射線の性質 	<ul style="list-style-type: none"> ・ どんな手段を用いても、物体を動かすのに必要な仕事の量は変わらないことがわかる。 ・ 「エネルギー」という概念の必要性に気づき、仕事との関係を理解する。 ・ エネルギー保存にもとづけば、力学現象についてはだいたいのことが予測できることがわかる。 ・ エネルギーは、いろいろに形を換えて自然界をめぐっていることを理解する。 ・ 放射線と放射能・放射性物質について違いを説明することができる。 ・ 放射線検出器や霧箱を用いて、放射線の観測を行う。 	